

医師・看護師・介護職員の大幅増員を 日本医労連増員闘争ニュース

第 202 号

2014 年 06 月 24 日

日本医労連増員闘争本部

TEL:03-3875-5871

FAX:03-3875-6270

島根県が看護職員の勤務実態調査結果を公表 月 9 日超夜勤約 4 割 厳しい結果浮き彫り

島根県では、これまでも県内の病院を対象とした実態調査を行ってきましたが、県医労連が実態を訴え県議会でも取り上げられる中、昨年 11 月に個々の看護職員を対象とした勤務実態調査(夜勤実態、勤務編成の基準、時間外労働)を実施しました。県は 6 月 19 日、県内 53 病院の看護職員の調査結果を公表、月 8 日(二交替月 4 回)超夜勤が 4 割近くにのぼるなど厳しい実態が浮き彫りになりました。県議会でも取り上げられ、県の健康福祉部長は、「厳しい労働実態の解消にむけ一層の看護師確保に努める」と答弁し、勤務環境改善支援センターを設ける方針も示しています。

ナースウェーブや労働実態調査 TVでの報道相次ぐ 愛知 7 月 4 日夜 7 時 30 分～特集番組放映(予定)

看護職員の労働実態調査について、県段階で記者発表が行われていますが、地元メディアの関心も高く、岩手、秋田、愛知、富山、石川、岡山などではTVでも放映されました。愛知では、看護の日に、県内の調査結果について記者会見、地元テレビが白衣行動とともに報道しました。さらに、記者が切迫流産 3 割などの母性破壊の実態に着目、現場の看護職員の声や医療研究集会の看護分科会も取材。7 月 4 日には、NHK名古屋放送局「ナビゲーション」(金曜 19:30~19:55)で特集番組が放映される予定です(放送は愛知・三重・岐阜・静岡・石川・福井・富山)。



白衣行動や労働実態調査等に関するTV放映の録画がありましたら、日本医労連にお送りください。

東京医科歯科大学から労働実態調査データ活用の申入れ 研究結果は年内に月刊「医療労働」発表予定

日本医労連の看護職員実態調査は研究者からも注目されており、東京医科歯科大学大学院研究開発分野の研究者からは、「3万人を超える調査データは貴重であり、日本医労連の調査データを利用して、医療機関におけるメンタルヘルスケアの実態とメンタルヘルスケアが及ぼす影響(リスク)に関して分析研究を行いたい」旨の申し入れがありました。日本医労連は、研究結果について労働条件改善の運動に役立てることを前提に申し出に応じ、研究結果は、今後、年内をめどに月間「医療労働」などで公表する予定です。なお、このニュースをもって同大学での調査データ利用についてのお知らせとさせていただきます。